

ブレインバンクに献体をご了承頂いたご家族皆様へ
(研究に関する情報)

当院ならびに関連施設では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究への協力を希望されない場合は、下記に記載されている研究の担当者までお知らせください。なお、研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはありません。

研究課題名	神経疾患を対象とした脳内神経伝達物質の分布観測 (福祉村病院倫理委員会承認番号#389)
当院の研究責任者	福祉村病院長寿医学研究所 研究員 赤津 裕泰 (名古屋市立大学医学研究科 教授)
他の研究機関および各施設の研究責任者	浜松医科大学 光先端医学教育研究センター フォトンクス医学研究部 光イメージング研究室 准教授 矢尾育子 浜松医科大学 細胞分子解剖学講座 教授 瀬藤光利 名古屋市立大学医学研究科神経内科 教授 松川 則之
本研究の目的	疾患患者と健常者における神経伝達物質の変化を比較検討することにより、神経疾患の病因および発症機序の解明を目指す。 これまでの認知症研究では、記憶・学習といった認知機能を司る神経伝達物質の各脳領域における局在と存在量を詳しく調べることができなかつたために、その本質的な発症・進行機序の解明が著しく阻まれてきた。しかし、近年開発された質量分析イメージング法では、生体組織における神経伝達物質の局在分布と存在量を合わせて可視化することができる。本研究課題では、神経疾患患者脳と正常脳を比較することで神経伝達物質をはじめとする物質の変化を明らかにする。
対象者該当期間	福祉村ブレインバンクに保管されている全症例。
研究の方法	神経疾患モデル動物、神経疾患患者および健常者の死後脳に対して質量分析イメージング等の解析を行い、認知機能障害の有無で脳内の局所的なアセチルコリン等、神経伝達物質やその関連物質の分布が変化するか、また変化するとしたらどこに、どれだけの差があるかを可視化し、神経疾患の発症機序を調べる。
個人情報の取扱い	長寿医学研究所個人情報管理者によって適切に管理される。
お問い合わせ先	名古屋市立大学大学院 医学研究科 地域医療教育学(秘書宛) 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 TEL 052-853-8527 (内線 8527)
備考	